

ジャーナル

生徒の声が新聞に掲載3

「個人情報取り扱い慎重に」との題で山形新聞（8月30日付）投書欄に佐藤沙織（2年2組）の文章が掲載されました。

個人情報取り扱い慎重に

■ 2年 佐藤沙織

私の通っている高校にはいま連絡網がない。小中学校までは、学校から家庭への連絡などで使用するため作っていたのだが、高校にはない。

なぜなのだろうと思い、自分なりに調べてみた。そこには「個人情報保護法」が関係しているのではないかと思った。

現在のネット社会では、個人情報の取り扱いに細心の注意が必要だ。さまざまな企業で個人情報の漏えい問題が起きている。実際に

その情報を悪用する人も多くいるという。そうしたことから、高校では連絡網を作らないようになったのかもしれない。

連絡網がないと急な連絡の際に困ることがある。だがどこまで情報を開示するのかは難しい問題だと思う。最初は単純に、なくてはならないかと思わなかったが、世の中の動きにいろいろ目を向けてみると、「慎重にも慎重に」という姿勢で扱うことが重要だと感じている。

8月30日付 山形新聞

（掲載許諾済）

生徒の声が新聞に掲載4

「子どもの内面に目向けて」との題で山形新聞（8月27日付）投書欄に益田結唯（2年2組）の文章が掲載されました。

子どもの内面に目向けて

■ 2年 益田 結唯

私は小さい子どもの世話をするのが好きで、将来は保育士の仕事に就きたいと思っています。

先日、インターンシップ（職業体験）で保育園に行ってきた。初日の体験ではとても緊張したが、子どもたちのはつらつとした元気のおかげで倒れながらも充実した2日間を過ごすこ

とができた。

実際に子どもと接してみても、一番難しいのはコミュニケーションだった。2歳児を担当したが、何かを伝えようと思ってもなかなか伝わらない。簡単なことでさえとても難しかった。

ある先生から、子どもたちは小さいながらも自分の世界を持っていて、なぜそ

のような行動をとるのかを落ち着いて考え接することが大切だと教わった。

例えば、片付けの時間になっても先生の言うことを聞かない子どもがいたとしても、その子自身も何らかの考えを持って行動しているのだから、時間が来たからと頭ごなしに叱ってはいけないということだった。

保育士の仕事は、子どもたちと一緒に遊ぶ中でその内面にも目を向けていくことが大切なのだと思えた。

慣れない仕事で大変だったが、子どもたちの笑顔に元気をもらい、保育士の仕事はとても楽しく、やりがいがあるとあらためて感じた。この2日間のインターンシップは私の将来にとって貴重な体験になった。

8月27日付 山形新聞

（掲載許諾済）